

中 名



熊本市歯科医師会会誌

第 72 号

“特集” 中根執行部3年間の業績を振り返って
“新年懇親パーティー”

目 次

年頭の挨拶	中根俊吾	2
中根執行部 3年間の業績を振り返って		3
新年懇親パーティー	吉永誠一郎	7
第9回九州八市歯科医師会役員		
連絡協議会	関 剛一	10
役員忘年ゴルフコンペ	古賀明	11
委員内講演会		
「口腔癌」	杉原一正	12
歯科医のための救急蘇生法	川崎俊明	13
第54回全国学校歯科保健研究大会	斎藤健	16
第33回熊本県学校保健研究大会	山村定信	17
第40回沖縄県学校保健研究大会	合沢康生	18
平成2年度歯磨き巡回指導	岡本寛	20
本日休診		
「中国広西壮族自治区を訪ねて」	池上富雄	21
「ゴルフは簡単!?むずかしい!?」	奥田良樹	24
勉強部屋		
最近のスルフオン床義歯について	緒方敏克	27
家族紹介		30
新入会員紹介		34
会務報告		36
編集後記		

年頭の挨拶

「地域における歯科保健の支援と推進体制を築く」



会長 中根俊吾

新年おめでとうございます。年頭にあたり会員各位をはじめとして、ご家族の皆様には健やかに新春を迎えたことゝお慶び申し上げます。

旧年は会務の全般に亘り、そして又、対外的な数々の行事や事業につきましても多くのご教示とご協力を頂きました。茲に厚くお礼を申し上げます。

本年は、ご存知の通り四町合併が行なわれ熊本市は将来に向けて政治、経済、社会の各機構が大きく変貌し飛躍する節目の年になります。

一方、高齢化社会への対応も増幅され、中でも福祉、保健医療については、国の方針にならって熊本市レベルでの施策が中心になって参ります。

これらに伴ない私共の歯科医師会に対しても地域に根ざした歯科保健の将来への展望や具体的な施策についての取組みが問われてくることでしょう。

今後は、今迄以上に関係機関と充分な検討を加えながら、行政が公的責任として分担する部分と、私共が専門団体の職責として分担する部分の役割りを明確にし、地域における歯科保健の支援と推進体制を築かねばならないと存じます。

そのためには、会員皆様の一層の団結と英知を結集して頂きますと共に、旧年にも倍しての会務へのご理解、ご助力をお願い申し上げる次第です。

茲に、先生ならびにご家族皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして年頭のことばといたします。

平成3年 元旦

特集

中根執行部

3年間の業績を振り返って



出席者

- ・寺脇 博理事（広報）
- ・中根俊吾熊本市歯科医師会会长
- ・富田久之理事（医療管理）

はじめに一言

寺脇 お忙しいところ今日お集まりいただきありがとうございます。中根体制になって初めての任期が終わろうとしていますが、どうでしたでしょうか。3つの大きな新しい事業計画を始められ、会員の期待要望にこたえるような活動をされてきたと思いますが。

中根会長



中根 現在のような歯科界の低迷の中において、自分なりに一応の結果は得られたと思いますが、

全体としては、まだまだ不充分なことばかりです。しかしその中で役

員、委員の先生方には多くの業務、事業、中には激務とさえ思われるものにまで実に熱心に取り組んで頂きました。加えて会員の先生方の多くの御叱声と御協力を得られたことは、幸せであると思います。ありがとうございます。

3件の事業計画を振り返って

寺脇 次に代診制度、寝たきり老人の在宅歯科診療、救急病院との連係の強化を1つ1つ詳細にみてみようと思いますが、まず会長のほうから。

中根 代診制度については、詳細は後ほど医療管理委員会の富田理事からお答えします。

私の知る限りでは、3件が適用を受けられています。その中では、金銭的問題などの依頼者と委託者との間には問題は派生していません。うまくいっていると思っています。

寺脇 この制度は私たち会員にとって病気になつたらどうなるんだろうと不安であった問題を解決された画期的な事業計画であったと思います。それで詳しい施行内容を富田理事のほうからお願ひします。

富田 市歯会が仲介した件数は3件ありました。その内容は、院長死亡につき患者整理、病気につき長期療養を要する患者整理の為、院長入院手術の為のものでした。

寺脇 事故、病気が発生してすぐ代診の先生は赴任できたのでしょうか。

富田 赴任まで3日から1週間かかっています。1件はすぐに某歯科に代診依頼を行ないました。その後鹿児島大歯科の先生が来られています。3件とも代診期間は1ヵ間でした。

寺脇 費用の件についてお話し下さい。

富田 日当は2万円、宿泊代、交通費は医院もちで、食事代は代診の先生本人もちとなっています。宿泊のことでもう少し条件の良い宿泊施設にしてくれとの要望がありました。

寺脇 他に金銭的トラブルや患者とのトラブルはなかったですか。

富田 トラブルはなかったが、税金のことが問題となりましたがお礼という形で医院のほうが支払いました。

寺脇 どうもありがとうございました。たいへん会員の為になっている事業と思われます

ので、よりスムーズに行くように御努力お願ひします。

次に寝たきり老人医療のことですが、むずかしい問題が山積しているように思えます。その中で発生するかもしれない医療事故の責任についてくわしくお話し下さい。

中根 在宅歯科診療に関しては、会誌71号に詳しく述べられていますが、現在行政の担当者と細部に亘って協議を重ねていますので近々結論ができると思います。

なお、その際の医療事故の責任問題ですが、これはあくまで担当歯科医師の責任であり、他に転嫁することはできません。しかしこれでは、医療行為自体が消極的なものになりますので、医療事故に対しての補償や救済については、可能な限り行政に対処して頂くよう協議しているところです。

寺脇 なるだけ会員の先生たちが協力しやすいような体制での運用をお願いして、救急病院との連係強化の件についてお願いします。

中根 患者の救命処置については、医療にたずさわる者として第一義になすべきことです。その為には、全会員の御協力のもとで、今後ともこの連係システムは強化し、保持していく努力が必要です。なお、幸いなことに現在まで救急病院へ移送したケースは発生していません。

市歯会の会計収入の現状について

寺脇 現在県歯では会費の見直しが検討されているようですが、市の歯科医師会の会費及び会計収入の現状について、会長の考え方をお話し下さい。

中根 市歯会計の収入は、診療報酬割りの1/1000と均等割、及び収益事業収入（年間約850万円）から成り立っています。尚、現今のように会員の収入が減少している時に市の歯科医師会では会費の負担増は厳に避けるべきではないでしょうか。

寺脇理事



寺脇 委員会の活動をしていく中で気づいたのですが、事務員が二人ではどうしても活動が制限されて、委員会の先生方の負担が多くなるようです。事務員が増員されれば会の活動ももっとスムーズにいくようですが。

中根 市の事務員の増員の要請が出ていますが、1名増員すれば年間300万円位の経費が必要です。先程言及したように、会費の増額は考えていませんので、現段階での増員は考えていません。ただし在宅訪問診療をはじめとして、今後委託事業の増加が見込まれていますので、委託費の中で事務員の雇用が可能であれば、弾力的に検討すべきでしょう。

夜間診療に対する対策

寺脇 しだいに熊本市の中でもいろんな形態をとる歯科医院が増加しています。小児歯科専門や、夜間遅くまで診療を行う医院が目立っています。その中でも夜間診療は女子深夜勤務、厚生施設など問題が多いと思われますが、どうでしょうか。野放ししていて大丈夫なのでしょうか。

中根 夜間診療の件は医療法の条件にも関係省庁の通達にも禁止をうたっていません。現

状では規制できません。又労働基準法においても女性の夜間就業が緩和されており、違法とはならないようです。ただ自己の利益を追及するためだけに夜間診療を行なうのは、医療人としての根本的な医の倫理観の欠如であると言えると思います。同様に一人法人での分院設立の問題についても、これは単に医療を事業とみなして利益を追及するためだけに設立するのであれば全く医の倫理に反する事でしょう。

対外的PRの充実

寺脇 次に对外PRの件です。まだまだ医科にくらべて、歯科に対する認識は非常に低いものと思っています。

中根 この対外的なPRについては最も広報委員会の活動として望まれるところであり、要望もしてきました。特に各委員会を含めた対外活動の場には常に広報委員が出動すべきであり、全ての活動状況を把握し对外、対内的に広報する方策を立てるように期待します。会内広報誌だけで事足りりでは不充分だと思います。

寺脇 何か矛先がこちらに向いたようですね。私たちも「中岳」「かわら版」の2つの広報誌の製作に追われ続けています。まだ考えているだけなのですが、市政だよりの中に歯科のコーナーを小さくてもいいから掲載していただけたらと思っています。これ以上の仕事は別の委員会をつくらないと不可能と考えます。

中根 その事は、予算の問題になるので即答はできません。先程いったように歯科保健の

啓蒙活動は、先人達により培かわれ、大きな効果を上げてきました。しかしながら今一步の感はいなめません。その根本的なものの1つは、口腔疾患と全身健康管理、特に生命との係わりが等閑視されてきた事にあると考えられます。高齢化社会を迎えつつある現在においては咀嚼と生体系とを関連づけることにより、ボケや寝たきりの予防、リハビリへの効果などを提唱したり、又、生命と直結する口腔ガンなどを取り上げながら口腔疾患への認識を高め、定着させなければならないと思います。なお、先般のシンポジウムのテーマとした「8020」については今後の啓蒙運動の主目的に掲げたいと思います。

寺脇 私たち委員会はできる限りの協力をしたいと思いますのでよろしくお願いします。

中根 非常に大切な分野ですので今以上の広報活動の充実を期待しています。

将来の展望

寺脇 最後になりましたが、社団法人として

の市歯科医師会のあり方、将来の展望についてお願いします。

中根 社団法人たる市歯会は県下の歯科医師の約4割の会員を擁する確固たる1個の性格をもった責任団体であります。来たる四町合併にともない熊本市が政令都市の指定をうける時期も間近かになってきた現在、市歯会としての独自性を持ち、認識していくべき時に来ていることは自明の理です。歯科界の混迷は社会的な認知、評価の低きところに発していると感じるのは私1人でしょうか。その社会的な認識を改める為に独自の数々の事業や活動を行うのは、市民と会員への責務であり、吾々の後進に対しての責務でもあります。

寺脇 お忙しい中、詳細に亘って御回答をいただきありがとうございました。在任中の3年間は大変な激務で市歯会の発展の為とはいえ、本当に御苦労さまでした。また今後会費問題や県歯会館新築など大きな問題が真近かに迫っています。会員の意を反映して、御活躍の程お願いします。

“91”熊本市歯科医師会

新年懇親パーティー



平穏な1年でありますように！

厚生委員会 吉永誠一郎

今年も恒例の熊本市歯科医師会新年懇親パーティーが1月19日（土）6時よりニュースカイホテル「玉樹の間」に於て行なわれました。

会員138名（うち平成2年度新入会員11名）・会員の同伴者30名・来賓3名計171名の多数出席のもと、柿原訓厚生委員長の司会によって進められ、先ず熊本市歯科医師会会长中根俊吾先生より平成3年幕開けにおける歯科医師会の方針等の年頭の御挨拶があり、続いて来賓として熊本市保健衛生局長後藤勝介様より田尻熊本市長の代読。又熊本県歯科医師会事務長緒方守様より招待のお礼ご挨拶がありました。平成2年度も熊本市歯科医師会には14名の入会があり、これから歯科界を担う

若々しい希望に満ちた11名の新入会の先生方に一人一人自己紹介していただきました。

いよいよ小清水良彦先生の乾杯によりビールから日本酒・洋酒といろいろ飲みかわしながら、話は世界情勢へと発展しますます盛り上がっていました。

司会はニュースカイホテルの広田さんに代



若々しい11名の新入会員

わり、カラオケやくじ引の抽選があり、歓談に夢中で全然注目していない人あるいは抽選にかたずを飲んで聞き入る人などさまざまでした。

時間の経つのも早いもので2時間半に及ぶパーティーも鈴木勝志副会長の万歳三唱でお開きとなりました。今年もさらにいい年でありますように。

今年も皆様からいただきましたお金は善意銀行に寄附いたしました。

なお出席者全員にお渡ししております第284回全国自治宝くじ（1等2000万円）の抽選発表が1月26日の新聞紙上に発表しておりますのでお忘れなきようご確認下さい。



来賓の方々と一緒に！



80才過ぎてもなお壯健



キマツテルネ!!



フン!! 男だけのお話ネ



やったぜ！ 奥村ですー!!



いずれがアヤメかカキツバタ？



第9回 九州八市歯科医師会役員連絡協議会 「分院開設に対する対処法を討議」

専務理事 関 剛 一

日時 平成2年10月26日（金）午後3時

場所 宮崎観光ホテル

第9回標記協議会が昨年度は宮崎市に於て開催された。この協議会は昭和57年九州各県庁所在地会長会として宮崎市にて発起人、福岡の加藤坦会長、世話人、宮崎の池田邦明会長により発足したのであるが、今年度は加藤坦先生の御勇退にともない、発起人および永

年出席として感謝状及び記念品が贈呈された。各市歯科医師会が提出した協議数は下記の通りであるが、今回は特に分院開設に対する対処法、在宅寝たきり老人訪問歯科診療事業の場における行政とのコンタクト等3時間にわたり意見交換がなされた。



各市歯科医師会提出協議題

地区歯科医師会 (沖縄)	1. 一人医療法人設立に伴う分院開設に対する会としての対処法について 2. 退会後の再入会に対する入会金、通算期間の処遇について
福岡市歯科医師会	1. 会員の推移について（過去5年間の会員数の増減）
大分市歯科医師会	1. 成人層における検診活動状況について
佐賀市歯科医師会	（ありません）
長崎市歯科医師会	1. 社会保険の改正に関する疑問点について (照会事項) 2. 私立保育所・幼稚園・小学校・中学校の歯科検診費用等の状況について 3. 市歯段階での政治団体（政治連盟等）の状況について 4. 在宅寝たきり老人等訪問歯科診療の現況について イ. 医療事故その他の問題点 ロ. 患者からの治療承諾書について
熊本市歯科医師会	1. 県歯会館借用条件について 2. 行政とのコンタクトはどのような事業の場で行われるか。
鹿児島市歯科医師会	1. 本年度予算書及び前年度決算書（未了の場合前々年度）と総会日程（事業報告）の交換について 2. 統一アンケート調査について 3. 非会員数と現状について
宮崎市郡東諸県郡 歯科医師会	（ありません）

役員忘年ゴルフコンペ

厚生理事 古賀 明



さる平成2年12月1日（土）熊本市歯科医師会恒例の移動理事会が佐賀県嬉野町の「大正屋」に於いて行なわれました。

先発組（ゴルフプレイ希望者9名）は朝9時に会館に集合し3台の車に分乗し一路、武雄嬉野カントリークラブへ向った。途中日が照りつけたり雨が激しく降ったりで、何となく気がめいってしまう様な天気でした。約1時間40分後、武雄嬉野インターを降りるとすぐゴルフ場案内の看板があり5分程の所にゴルフ場がありました。昼食をゴルフ場で済ませ早速世話役の先生よりゴルフの下場評がくばられ各自、夢の宝くじを買う様な気持ちで考え込んでおられた。予定より約40分遅れのスタートコールがあり外へ出るとブルブル震える位の雨風で気が重くなった。いよいよ理事会杯嬉野記念が開催された。私達についてキャディーさんはムツー、これでは球の行方を見てはくれないとフェアウェイキープのみをねらって大振りをせず軽く振るが、雨風が

強くまっすぐ飛んでくれない（いつものこと）。チョコレートを握った先生にはせめてドローにと思いつつも散々たる結果。結局以前ここでホールインワンをされた山室監事がグロスの部優勝、さすが嬉野には強い？ダブルペリアの部、私古賀明が優勝し、それぞれ賞金を戴きました。賞金をいただいた先生の他に6-2オッズ20.0の中穴がでてニンマリした先生が約3名おられました。ゴルフを終え最終目的地である宿泊地「大正屋」へ着き温泉の大きな湯舟ヘドボーン。やっと旅の疲れがとれた所で後発組が着き理事会が開催された。理事会の後、忘年会に移り、今回新監事になられた宇部宮先生も交え、綺麗どころ6名も加え、各先生やけ気味に酒を汲み交しカラオケを歌い中根会長、富田理事は自分の歌に酔いしれており大変なごやかな打ち上げとなりました。かく申します私はそのままバタンキュー翌日は頭フラフラでした。



委員内講演会

「口腔癌」

講師 杉原一正



口腔癌の生存率は低く、早期治療の重要性を講演される杉原一正先生（鹿大第一口腔外講師）

口腔癌の生存率は低く、早期治療の重要性を講演される杉原一正先生（鹿大第一口腔外講師）この講演会は、胃癌、乳癌等の早期発見のために行なわれている集団検診制度を、口腔癌においても、歯科医の手で実施できないものかという中根会長の発案の下に、まずは、歯科医師会全体の活動及び運営を担う各委員会の先生方に、口腔癌を理解し、把握していただこうという目的で行なわれたものです。次回からは、全会員対象で開かれる予定です。

講演の内容は

1. 初期口腔癌の臨床像

多数の臨床例のスライドを示され、その特徴を述べられた。また、年間千人の新患者を診る歯科医は、7～8年に1人の割で口腔癌に出会うこと、未治療癌の2年後の生存率は、乳癌の55%に比べ、口腔癌は低く、口腔癌の早期治療の重要性について強調された。

2. 初期口腔癌の診断法

① 口腔癌の特徴は、視診、触診が可能なことで、ビランや潰瘍の周囲の硬結、歯

平成2年12月8日

（土）、鹿児島大学歯学部第1口腔外科講師、杉原一正先生による「口腔癌」についての講演

牙の原因不明の動搖を見逃さないこと



② X線写真の境界不明瞭な骨破壊像、特に、辺縁が虫食い状になっているのは、要注意である。

3. 口腔癌の生検の仕方

患部を麻酔し、正常組織との境界を深く紡錘形に最低5mm以上切取する。採取した検体は、即10%ホルマリン固定液へ入れ、検査センターへ出す。生検後は、縫合し圧迫すれば出血の心配はまずない。

4. 類似疾患との鑑別法

① Dulとの鑑別は、義歯や歯牙、補綴物等の原因と思われるものを除去し、1週間経過を見る。その結果、病態が小さくなればDul、変化無し又は、悪化する様なら悪性を疑う。

② 口内炎との鑑別、ステロイド軟骨を塗布し、1ヶ月しても治癒しないものは、良性悪性は別にして口内炎ではない。

③ その他、白板症、カンジタ、扁平苔癬などとの鑑別は、紙面の都合上割愛させて頂きます。

以上が、今講演の概要ですが、ほんの一部しかお伝えできないのが誠に残念です。必ず一般会員用の口腔癌の講演会を企画致します。ご期待下さい。

学術委員会 西野隆一



「歯科医のための救急蘇生法」

“突発的事態に備えて、100名のスタッフ参加”

学術委員会 川崎俊明

去る平成2年11月20日（火）21日（水）の両日にわたり、救急蘇生法講習会が、学術委員会、医療管理委員会の主催で行なわれました。

歯科診療時の突発的事態に対しての、緊急処置に関しての習熟を目的としたもので、会員及びスタッフを対象として毎年行なわれてきたのですが、今回も、両日ともに100名近い参加者で、各医院の関心の高さがうかがえました。

講習会は、まず専務理事の挨拶につづき、伊東学術担当理事の救急蘇生法に関する講演が行われました。

講演では、最近における歯科医療トラブルを例にあげて、救急処置の必要性、また留意点を説明されました。内容としは、

1) 術前の患者の状態を良く把握しておく。

○問 診（既往歴等…）

○視 診

2) 局所麻酔時は特に異常がおこりやすいので、麻酔前、後の患者の状態の変化に注意しておく。（介助のスタッフ等）

3) もし異常が発生した場合は、直ちに患者を水平にし意識の有無を確認し Vital sign（脈拍、血圧の測定）をチェックする。また、異物による気道閉塞の防止のため口腔内異物をよく吸引チェックする。

4) 意識消失の場合は、気道の確保を行ない呼吸のチェックを行う。必要があれば直ちに人工呼吸を開始し、心拍数をチェックする。この間に近くの救急病院に連絡する。

講演につづき、マネキンを使用しての実習が行なわれましたが、参加者全員、汗だくになって真剣に実習されていました。人工呼吸と心マッサージとのコンビネーションがなかなかうまくとれずに苦労されている方が多かったようですが、各医院での反復練習も必要

かと思われました。

伊東学術担当理事の講演にもありましたように、最近の医療トラブルは、訴訟問題となり高額保障となりつつあります。

1例では、気管支喘息の既往の有る患者に鎮痛剤を投与したところ、8時間後に死亡し4,000万円を支払うといった事例もあります。

また麻酔で貧血を起こし救急車で病院へ、後の処置（対応）がまことに感情的になってしまった。などと、日頃から不測の事態に対して、適切に必要な処置がとれるように医院内の訓練も重要であると思われました。



救急蘇生法実習会出席者

11月20日(火) PM 7:30~

歯科医院	氏名	歯科医院	氏名
市松伊東病院歯科	志典利子美代子江よ美美ぶ子美美康継ヤ子子治代美剛香実り	木清水歯科クリニック	田百吉栗清富徳前友齊廣高立堀日木大竹花一斎山武中富木後
斎藤病院歯科	浩真隆尚久史悦絹み芳晴し加雪明公忠ア千亮義倫知宗美洋さゆ	牧友野枝立花村崎	中武田原水高永田枝藤重橋花口田実村原本城藤口内村田村藤
堀川歯科	岩松伊淀齐吉青橋益山笹立鈴中佐高齊吉池山堀堀稻西丸宮坂	大川	内村田村藤
西田歯科	田本東川藤武木本田口原花木尾間木藤田田本川田田山田本	池上矯正歯科クリニック	武中富木後

歯科医院	氏名	歯科医院	氏名
杉野歯科 添島歯科クリニック	斐野和み子 実代 美穂 美晴子 恵隆枝 百合	藤波歯科 稻富津田 葉永河野 原川中野	子剛子 穂み郎 司稔子 美朗子 洋玄彦興一 伴美ひ逸祐 利弘哲 季替 弘明弥隆
奥田歯科	知陽正つ 美洋加洋三 と春美奈美和利	河原川中野	植藤小立 岩稻富津相浜河西成昔御菊田西
内田(裕治)歯科	甲杉添吉守村小奥甲岡井告津猪坂斎内島守	菅角菊田西	田波里川本葉永田澤田野村松原任川中野
ところ歯科 村上(雄二)歯科クリニック	斐野島野田田斐本	田原井藤田田	植藤小立岩稻富津相浜河西成昔御菊田西

11月21日(水) PM 7:30~

歯科医院	氏名	歯科医院	氏名
浮池歯科	史子み子 喜と香 昌由さ 千由好 池田崎島	中田塚川永川 田本鬼古吉堀 久坂鬼	子美宏亘文土郎 一美り一昭史子里郎 美代美惠吾和衛 ミリリ子一生 あ里和 友猛誠秀晴ゆ晴憲啓朋真俊直 貴里俊直 ユ一美惠 堀高吉田本鬼古吉堀 堀木久坂鬼堀西佐渡作松溜中内 吉森北阪泉藏太
藤岡緒赤伊 波田方城東	昌由さ 千由好 知敏公隆 博智博賢 美香潤瑞朋 久和久さま 千健里洋弘白	保本塚 片山(隆)歯科クリニック 根良永 中吉森 藏フア	田岡中田塚川永川川下田本塚田山藤辺取本渕根野良永内井 田田 保本塚 堀木久坂鬼堀西佐渡作松溜中内 吉森北阪泉藏太
坂堤元歯科 (直文)	元藤(朗)歯科 奈良藤(朗)歯科 上村歯科	中田塚川永川 田本鬼古吉堀 久坂鬼 片山(隆)歯科クリニック 根良永 中吉森 藏フア	史子み子 喜と香 昌由さ 千由好 池田崎島 波田方城東田田 田崎田田元藤原島山良藤河北山村 賀

第54回 全国学校歯科保健研究大会

歯科保健指導の生活化推進を目指して

学校歯科委員会 齊 藤 健

平成2年10月19日（金）、20日（土）広島で学校歯科保健の包括化（発達段階に即した歯科保健指導と生活化推進）を主題として大会が開催されました。



第1日は式典、表彰式、記念講演シンポジウム、懇親会等があり、第2日は公開授業、領域別研究協議会が(1)幼稚園、保育部会、(2)小学校部会、(3)中学校部会、(4)高等学校部会の4部会に別れて行われ、私は小学校部会と午後の部の研究協議会報告と全体協議会に出席致しました。



小学校部会は広島市立吉島東小学校で公開授業と、「小学校における歯科保健指導の実践」をテーマに研究協議会が中尾俊一明海大学歯学部教授を座長に迎え始まりました。

発表者は、

広島県廿日市市立金剛寺小学校教諭

佐伯和夫
福岡県福岡市立美野島小学校養護教諭
川谷信子
島根県浜田市立原井小学校保健主事

佐堂潔
愛媛県北宇和郡津島町立下灘小学校学校歯科医
田中実
の方々が発表され、それぞれの学校は、日本一健康優良校であったり、文部省より学校歯科保健活動推進校に指定されたりした学校等でそれぞれすばらしい発表をなさってました。発表の内容は、1. 教職員の指導、2. 授業を通しての指導、3. 保護者の意識向上させる（参観日に歯科保健についての授業をする）。参観後の保護者の感想文の一例（授業参観がむし歯の話と聞いてなんで今さらと初めは思いました。……ついつい忘がちになる大切な事を改めて勉強してよかったですと思いました）。島根の小学校では保健委員会が校内はもとより幼稚園に出かけ歯やむし歯の話、紙芝居、劇をしたり、ブラッシングの指導もやっているとの事でした。愛媛県の校医の先生は、デンタルフロスの代りに輪ゴムを使って指導をしていると報告されてました。今日迄のむし歯をなくそうと云う考え方ではなく健康な歯を育てよう、そして心身共に健康な生徒の育成に努力しようとの事でした。

第33回 熊本県学校保健研究大会

基本的な生活習慣の育成をめざす学校保健をメインテーマに

学校歯科委員会 山 村 定 信



昭和33年に始まった熊本県学校保健研究協議会大会が今年で33回を迎える。菊薫る平成2年11月9日(金)・10日(土)の両日、宇土市民会館等で開催された。

主催は、財団法人熊本県学校保健会・熊本県教育委員会・宇城市町村教育委員会連絡協議会で、主管は宇城学校保健会であるが、

- ① 幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特殊教育学校の教職員
- ② 学校医、学校歯科医、学校薬剤師
- ③ P T A会員
- ④ 市町村教育委員会職員
- ⑤ その他の学校保健関係者

等が多数参加された。

大会は、学校保健功労者、及び健康優良学校に対して贈られる表彰式、講義、及び特別講演会、2日目の10班に分科された班別研究協議会等が行われた。

「基本的な生活習慣の育成をめざす学校保

健」をメインテーマに、児童生徒の健康な身体とたくましい精神力を育成するために、学校・家庭・地域社会の連携による学校保健安全のあり方やその実践活動上の諸問題について活発な研究協議が行なわれた。

初日には、県歯会長の宇治寿康先生の学校保健・学校安全の文部大臣賞の受賞の報告、続いて県学校保健功労者として、

長州町立清里小学校

学校歯科医 山 本 巍

甲佐町立白旗小学校

" 佐 藤 昭 夫

八代市立日奈久小学校

" 多 田 昌 司

の各先生方が表彰された。

講義は、目白学園女子短期大学真仁田昭教授による「基本的生活習慣の形成にかかる課題」、続いてR K K 小堀富夫社長の「くまもとの心」～熊本人気質とは～の特別講演があった。

2日目の第7班のテーマ「疾病予防」では、助言者に県歯学校歯科副委員長の佐藤昭夫先生をお迎えして、

河内町立芳野小学校

養護教諭 山 元 和 代

田浦町立田浦中学校

" 上 野 純 子

宇土市立網田中学校

” 上野 恵子

県立宇土高等学校

” 濱本 祐恵

の各先生方から研究発表があった。

その中で田浦中では昭和55年と昭和62年の

ブラッシングのアンケートの比較調査の結果報告、網田中では歯の健康集会の実践についての報告、また、パソコンを導入した宇土高での保健管理活用等について実態報告があつた。その後、これから課題について協議があり実り多き会を開会した。

第40回 沖縄県学校保健研究大会

宇治寿康県歯科医師会会长文部大臣表彰を受賞

学校歯科委員会 合沢 康生

平成2年11月14日（水）より16日（金）まで、第40回全国学校保健研究大会が沖縄県那覇市で行なわれました。11月14日は、課題別研究協議会役員事前打合せ会があり、15日那覇市民体育館に於て、開会式及び学校保健、学校安全の功労者、団体に対する文部大臣表彰がありました。本会から宇治寿康県歯科医師会会长が表彰されました。ついで「健康と長寿へのアプローチ」という演題で琉球大学教育学部教授尚弘子先生による特別講演が行なわれました。

16日は課題別研究協議会が行なわれ、12の分科会に分かれて、各々会場を別にして研究協議が行なわれました。小生は真和志農協本所で行なわれた、第10課題「歯を大切にする習慣や態度を育てる歯科保健活動」に参加しました。協議題設定の趣旨は「歯を大切にする習慣や態度を育てる歯科保健活動の計画の立て方と活動の進め方及び健康相談の進め方」

で、3名の提案者による研究発表が行なわれました。まず最初に、宮崎県北郷町立黒荷田小学校教諭、新原とも子先生による「教育活動全体を通して進める歯の保健指導について」という協議内容で発表がありました。黒荷田小学校は山間部にあり、全校数22名の小規模へき地校で、昭和33年に文部省推進校に指定されました。研究内容には3本柱があり一つは特別活動等の時間における指導で、年2回むし歯予防に関する主題で授業しているが、時間が不足しているという事でした。従って毎週土曜日の業間を「すこやか」の時間とし、歯に関する指導を年間4～5回行っているとの事でした。もう一つは、日常生活に於ける指導で、給食後5分間「はみがきタイム」を設定し、最初3分間は音楽に合わせてみがき、あと1分間ぐらいは自分に合わせてみがく様にしているとの事がありました。あとハブラシのチェック、はみがきカレンダーのチェック

ク等もひんぱんに行なわれている様でした。最後は家庭との協力で学校保健委員会を年3回実施し、PTAの参加の下毎年第1回目は歯科医の講話を受けているとの事でした。家庭教育学級は毎月1回実施し、第1回目の学校保健委員会の後の家庭教育学級では保護者と児童が一緒に歯科医や衛生士から刷掃指導を受けているとの事でした。又学校栄養士を招き、歯によいおやつ作りを実習したり家庭で取り組んでいるむし歯予防についての実践報告会を開いたりしている様でした。2番目は沖縄県今帰仁村立兼次小学校教諭金城小夜子先生による研究発表がありました。研究内容は始めの発表内容とよくにた様な内容で、家庭との連携をいかにうまくするか苦労している様でした。

3番目は東京都練馬区立大泉小学校歯科校医石川実先生の発表がありました。協議題は「効果的に進める歯科検診と健康相談の進め

方について」という事でした。研究発表後、質疑応答があり口腔の機能を障害する様な食品が開発されたり、歯科校医に対する学校保健活動を維持する為の努力についてといった様な質疑応答がなされました。

最後に指導助言者である石川県教育庁保健厚生課、課長補佐の濱崎源一氏による指導助言があり、ついで東京歯科大学教授、高江州義矩先生による公衆衛生学的立場からの学校保健に関するむずかしい話があり、課題別研究協議会が終了しました。研究発表される先生、学校は大変な努力をされて頭の下がる思いがしましたが、特に目新らしい方法はなく、結局はみがき、おやつの2点にしほられる様な気がしました。又昔とちがう所は家庭との連携を重くおいて、家庭によりかけ、家庭と一団となって、むし歯予防にとり組んでいる様な気がしました。

〈一口メモ〉

〈昔の抜歯〉 「医歯薬出版」歯学史資料図鑑（目で見る歯学史）より

口中書にみられる抜歯時の麻酔剤としては、歯落薬または去落薬の名のもとに、仙人薬、草撥、草烏頭、明礬、大夢煎、細辛、山椒など、術者が各自の経験から得た処方を細末として歯の両面に塗りつけて、しばらくして抜くのであるが、この場合、歯肉を切ったり、または針で傷つけることもある。また、煎じた濃液を糸に浸したものを歯頸部に巻いて2~3日放置したのちに抜くなどして無痛化を図っていた。

江戸末期に浪華に住んでいた難波源蔵は、大夢の煎じ液を絹糸に浸し歯頸部に巻いて、液の浸透するころをみて抜歯し、無痛化を図り評判が高かった。また渡辺良斎は乳歯の抜歯にテグス製の釣糸をコボレ草で煮たものを歯頸部に結んだと伝えられている。また伊沢道盛も殿中の若殿様の乳歯抜去に毎日伺候してテグス糸の交換をし、自然脱落を待ったという。なお、小幡英之助や高山紀斎は当時の歯痛に対してクレオソートあるいは亜砒酸と併用し失活させ、または阿芙蓉越幾斯を綿球に貼布して止痛としていた。

平成2年度 齒磨き巡回指導実施

歯及び口腔に関する保健指導を行なって 歯磨きの定着化を図る

学校歯科委員会 岡 本 寛

歯科保健に対する関心は、歯科医学の進歩発展、歯科保健衛生思想の普及向上に伴い、年々高まってきており、その結果としてむし歯の減少傾向が見られるが、いまだに永久歯のむし歯発生率は高い状況にあります。

そこで、歯科疾患の発病が、生活環境並びに生活習慣と密接に関連していることを重視し、歯及び口腔に関する保健指導を行なって歯磨きの定着化を図る目的で、10月23日より熊本市教育委員会の協力のもと、ライオン歯科衛生研究所から、堤雅子講師と、柴田理恵講師をお招きし、保健指導及び歯磨き体操を実施した。各学校では、校長先生を始め、養護の先生方も熱心に、学童達を指導されていました。平成2年度の実施校は、出水小学校（全児童500名）、向山幼稚園（52名）、春日小学校（全児童434名）、向山小学校（全児童483名）、一新幼稚園（116名）、黒髪小学校（2～4年300名）

花園小学校（1～3年 450名）、本荘小学校（全児童 160名）、春竹小学校（全児童956名）であった。

健全永久歯をウエクから守るには、第1大臼歯の萌出開始時期の5～6才頃から、第2大臼歯が萌出し、永久歯咬合が完成するまで、

基本的な生活リズムによる食生活の改善、歯口清掃の習慣化など、保健教育の充実がこれまで以上に望まれる。

尚、ブラッシング法は、スクラブ法の指導を行なっております。

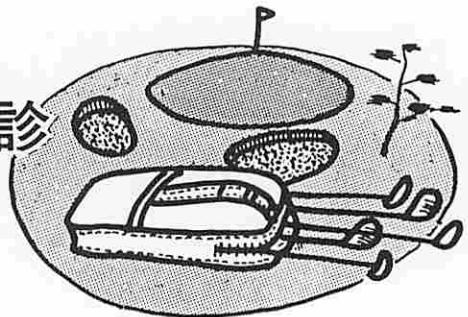


一新幼稚園での指導



向山小学校でのハブラシ体操

本日休診



中国広西壮族自治区を訪ねて

池上富雄

昨年7月15日より22日迄の約一週間中国広西省（熊本県の姉妹省）南寧（なんねい）市で開かれた広西省の歯科学会に伊東隆利先生と共に特別講演の講師として招かれ、当地の歯科関係者と交流する機会を得たので中国の歯科事情について見聞した事を報告したい。



中华医学会广西分會口腔科学年会代表団
—九八夏月—

全学会参加者との記念写真

【招待までのいきさつ】

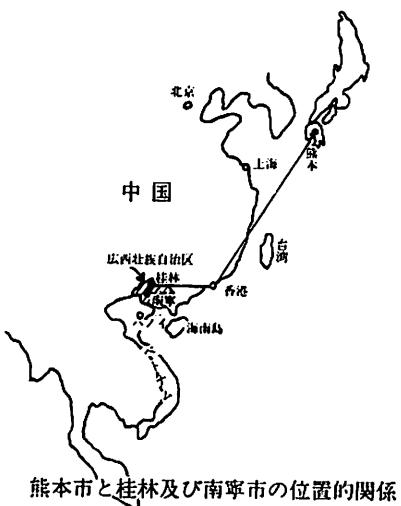
今回の招待の発端となったのは、広西省では最大規模の総合病院である広西壮族自治区人民医院に勤める周嬌（しゅうえん）歯科医師（女性）よりの一通の手紙であった。彼女は、白男川県医師会長の招待で菊陽中央病院歯科に3年前に約1年間歯科の研修の為留学していた事があり、矯正歯科に興味を持っ

ていた彼女が、私のクリニックに見学に来る様になった事から交流が始まったのであるが、中国へ帰国後は殆ど音信も途絶えていたところに突然一昨年暮れに招待の手紙が舞い込んできたのである。

【福岡から桂林へ】

7月15日10時40分福岡発のJAL753便は予定通り香港に13時には到着し、香港を半日観光した後、香港発18時20分桂林行きの中国民航機に乗り込んだ。途中天候が悪化し、ひどい風雨となったが約1時間後に我々の飛行機は無事桂林の空港に到着した。桂林の空港は、伊東先生の表現を借りると、丁度「石垣島の空港に降り立った」様な感じがした。荷物を取る回転台などという物はないので、トラックが運んで来た手荷物を乗客が自分で荷台から降ろすのである。次に入国手続きとなる訳であるが、これが又、非常に能率が悪く、時間がかかり、やっと外に出れたのは、到着後約一時間も経って、辺りがすっかり暗くなつてからだった。我々は二人共中国語が全く知らないので多少心細くなりかけていたのだが、

空港の外には、頼りにしていた周先生と陳先生（産婦人科の女医でやはり熊本に留学していた）が出迎えに来てくれていて、やっとほっとすると同時に、お互に再会を喜んだ。こうして約1週間の中国の旅が始まったのである。



熊本市と桂林及び南寧市の位置的関係

【いよいよ南寧市へ】

翌朝桂林発7時22分の汽車には危うく乗り遅れそうになったが、何とか走り込んで間に合った。我々の席は、冷房付きの比較的きれいな車両だった。南寧市迄約7時間の所要と聞かされた時にはいさかかうんざりしたが、物は考えようで7時間もの汽車の旅を楽しむなどという事はそうめったに出来る事ではない。車窓に移り変わる桂林名物の奇岩怪石の作り出す風景を眺めながら4人で雑談に花を咲かせていると、7時間という時間もそう長くは感じられなかった。南寧市にはその日の午後2時20分にほぼ定刻通り到着した。南寧駅では、今回の学会を主催した広西省の歯科関係者が出迎えてくれていた。南寧市は桂林市に比べればずっと大きな都市で人口は、約

100万人ということである。我々の滞在したホテルは、一流ホテルの中には入らないと思うが、それでも中国の一般の人達はめったに泊まれないとの事であった。ホテルにチェックインした後一息いれて早速学会の行われている会場の下見に行く事にした。学会会場はホテルから車で約10分程の所にある招待所（中国では日本のホテルに相当する高級で大規模なものを飯店と呼び、それより格のおちるいわゆる簡易宿泊所の事を招待所という様である）の中の講堂を借りて行なわれていた。この講堂は木造の平屋建てで、冷房などは一切ない為、日本の冷房のきいた立派な会場に慣れた我々にとっては暑苦しくて、決して快適とは言えない会場であったが、参加者は日中の暑い盛りであるにもかかわらず非常に熱心で、居眠りをしているような人はほとんど見られなかった。我々2人は、それぞれ3時間ずつの講演を依頼されていたが、相談の結果一日目に伊東先生がインプラントと顎外科を中心とした口腔外科の話をして、2日目に小生が矯正の話をする事になった。講演は両講演共中国の歯科医にとって非常に目新らしい内容であったらしく概ね好評の様であった。

【広西歯科大学と広西壮族自治区

人民医院を訪ねて】

1日目（7月17日）の伊東先生の講演の後、午後は、広西省唯一の医科大学である広西医科大学歯学部長の蒙教授の案内で、同大学の歯学部付属病院を見学させて頂いた。

冷房のきいた建物に慣れている我々にとっては、殆どベトナムとの国境に近い中国南部の、夏の暑さは骨身にこたえたが、中国の歯



広西医学院附属病院正門前で。
左端が蒙（もん）教授（歯学部長）

科医は冷房のない診療室で白衣に半ズボン姿で汗をかきながら診療に取り組んでいた。たった2～3日見学しただけで中国の歯科事情について云々する事は避けたいが、治療技術はさておき、歯科材料、器材の遅れは歴然としていた。私の見た限りでは、中国、特に広西省に於ては歯科に於ける専門化はまだそれ程進んでおらず、日本で既に専門分野として確立している小児歯科、矯正歯科はまだ独立した科として存在していない様であった。日本に於いて歯学部が全国各地に新設された時、多くの場合まず口腔外科の教授が赴任して創設の中心的な役割を努めた様に広西医科大学に於ても口腔外科専攻の蒙教授が中心となってこれから他の分野を育てあげていこうという息吹が感じられた。一方、2日目（7月18日）の小生の講演の後に訪れた人民医院（熊本で言うならば国立病院に相当？）は、1500床を有する広西省随一の総合病院（勿論国立）で、近代的な医療設備も殆ど整っており、診療のレベルに於ては、むしろ広西医科大学のそれを上まわっている感があった。しかし、ここでもやはり歯科の診療の中心は口腔外科の様であった。ちなみに中国の歯科医はその

教育、経験等によりランク付けされる様で、きちんとした教育を受けた歯科医は口腔科医師と呼ばれ、顎顔面領域を専門とする外科医として扱われている様である。その証拠にこの病院に5名いる副院長の1人は陳湘灿先生という口腔外科医であるが女性の病院長（心臓外科医）についてM2の地位にあるという事であった。

【桂林での一日】

南寧には、7月16日～18日の3日間滞在し、講演の大役も無事終えた後、7月19日の朝、南寧発9時15分の汽車で帰国の途についた。南寧から桂林へ再び7時間の汽車の旅である。桂林発香港行きの飛行機便の都合で桂林に一泊し、観光をする予定が組んでいた為、世界的に有名な漓江下りの船旅を楽しむ事にした。



漓江下りの船上にて左より Dr. 周、ツアーガイド、Dr. 伊東、筆者、Dr. 陳

当日（7月20日）は素晴らしい好天に恵まれ、私達4人（Dr. 陳、Dr. 周、Dr. 伊東と私は途中の乗船場より指定された観光船に乗り

込んだ。この観光用に建造された船は、一隻当り約20～30名の観光客を乗せ、それこそ数珠つなぎになって川を下っていくのである。

両岸にはテレビのコマーシャル等でおなじみの奇岩怪石が次々と現れては消え、まさに一幅の墨絵の世界に迷い込んだ様な錯覚に陥った。

中国での最後の夜は、熊本に留学した事のある桂林在住の若い中国人が5～6人集まってくれたので、我々2人で食事に招待し、その後は日本風のカラオケ・バーで楽しんだ。中国にカラオケ・バーがあるとは我々も思いもしなかったが、数はそう多くはないものの、桂林には個人資本で経営している私営のカラオケ・バーがいくつかあったし、ホステスの女性もいた。中国は広い国なので、桂林の様に観光が主な産業である所では外国人観光客

誘致の為に思いきった自由化が行なわれている様であった。

【最後に】

今回の一週間にわたる中国旅行では、色々な意味で一種の「カルチャー・ショック」に似たものを覚えた。物質的に恵まれた生活を送る事の出来る日本に生まれた事を幸せに思う一面、現代の日本人がもう失ってしまった精神面での豊かさ、純朴さというのに触れる事が出来、目を開かされる思いがした事も事実である。今後共中国との交流を通してお互い相手の良い所を吸収出来る様な相互交流の輪が広がる事を期待したい。

その後、10月末頃中国廣西壯族自治区人民医院口腔外科医師陳湘灿先生が来日されましたので、その歓迎行事記を次号に掲載致します。

〈ゴルフは簡単!? むずかしい!?〉

奥 田 良 樹

10年前にクラブをにぎり平均スコアー120～130、年2回の盆と正月だけのゴルフの結果である……。昨年（平成2年2月）から友人Iちゃんのススメでトーナンデンタルに入り、月1ゴルフをチントラやっていた。

もともと私の趣味はトライアスロンで、ゴルフは老人のスポーツで、60才すぎてからやれば良いと軽く考えていた。しかし足の故障のためパタリ走れなくなり（歩くのは大丈夫）、毎日走っていた練習をゴルフに切り替え、のめり込んでいった。

〈ゴルフは簡単〉



練習始めは6月27日、長嶺の広畠ゴルフ練習場。毎日200発をノルマに仕事終了後打ち続け朝起きると指がゴルフクラブを持った状態のまま動かず指のストレッチをして、やつとどうにか動き、ケンショウ炎の1歩手前の状態が続いた。

7月22日高遊原でのゴルフコンペでO B 3発出しながらも49、48の97であがり、念願の100はあっさり切った。それまで打った球は約3千発。ついで福岡の玄海ゴルフクラブでバックティーからで98がでて“ゴルフ簡単！”と仲間に豪語する。その後2回100たたきをやったが8月19日赤水で46、45の91がでて絶好調となり90をきるのもあと数回のうちと思っていたら、オットドッコイ、そうはイカのキンタマであった。

〈ゴルフはむずかしい〉

ゴルフに色気が出てきたのである。8月までに1万発は打ってきたが、無心でジャストミートだけ考えて練習していたので、それなりに良いスコアが出、フォームも悪いなりに安定していたのだが、より遠くへ飛ばそうと思い出したトタン、メロメロになってしまった。なにしろドライバーが180ヤードも飛ばないのダ。これにはマイッタ。色々なゴルフの本を読み、シングルの人に習い、練習も人一倍したが、コースに出るとギクシャクして、ただ球に当てに行ってしまい100たたきの連続。ドスランプに落ち入る。がそれでも毎日練習しているとドライバー開眼、アイアン開眼の時が来るからゴルフは面白い。

〈ゴルフは楽しい〉



ゴルフは広々としたグリーンと美しい風景の中でまる1日楽しめるのだから、おまけにビール飲んで話しながらプレイできるのですからサイコーです。又自分の力で200m以上も先へ飛ばすことができるのは快感、エクスタークシードです。パーインの充実感、ナイスバーディーの恍惚感。O B、チョロ、ダフリ、テンプラ等々ほんの愛嬌です。

時々ゴルフをしながら、自分を責めてばかりいてストレス製造機のような方がいますが、たかが遊びでストレスを作るようではしょうがありません。悪かったら練習する、良かつたら自慢すればよいですから楽勝です。

〈今年は90をきるゾー！？〉

12月に入り、ついにドライバーを買った！エアロナ300ボロンシャフト4万5千円。それまで使っていたクラブはフルセット5万9千8百円の安物でそのドライバーは練習しすぎて一部塗装がハゲていたし、またスイートスポットがわざかしかなく飛ばなかったのである。新しいドライバーはカーボンヘッドで軽いが長尺の44.5インチ。練習場で打つと気持

良いように飛ぶが時々スライスも出るといったところ。

もうトラック2台分打ってきたので、そろそろ80台で回れる日が来ると信じているのだがはたして今年は……？

〈バーディーの取れるゴルフを目指して〉

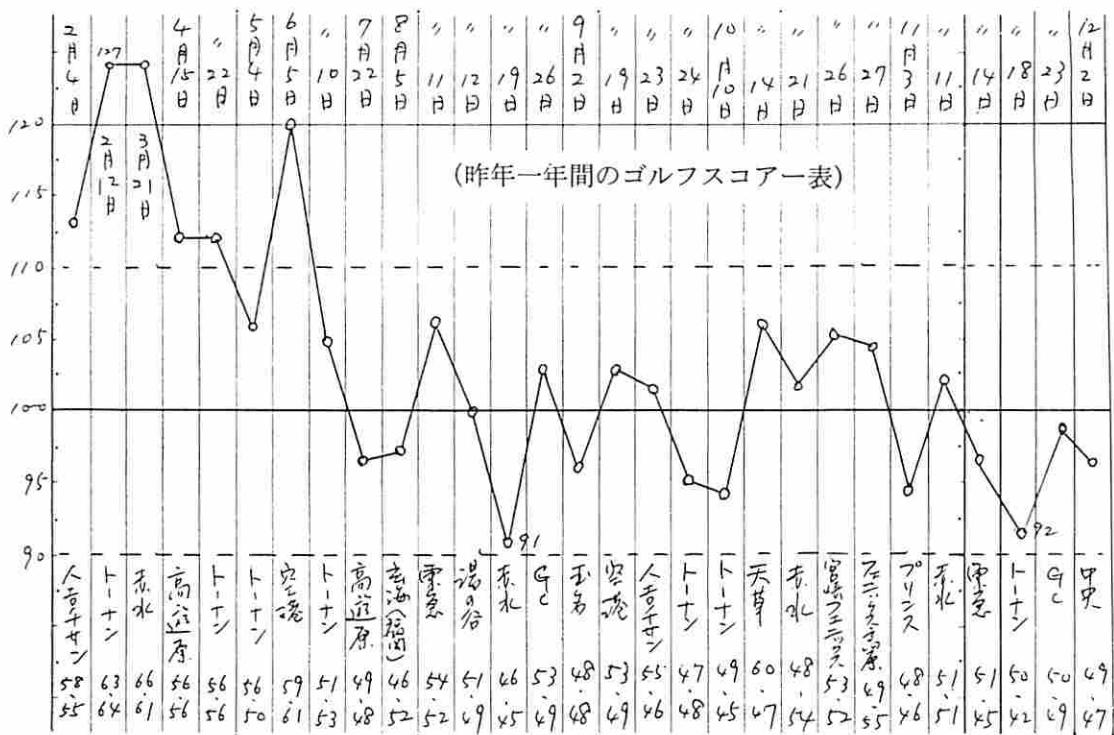


下の表は昨年1年の私の成績表です。

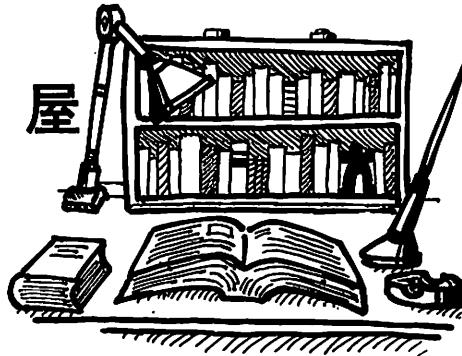
練習を始めての平均スコアは98.9、11月末に私のホームコース、グランドチャンピオンにてオフィシャルハンディが23と出了ました。

3ヶ月程走らなかったら（水泳は毎日昼休みに800m～1000m泳いでいた）具合が良くなり、朝6時から1時間8～10km走り出しました。腕立て伏せ、腹筋も毎日100回やっていますがゴルフのスコアにはあまり関係がないようです。

今年の目標は“バーディーを取れるゴルフ”です。今年は御一緒に楽しいゴルフをいたしましょう！



勉強部屋



最近のスルフォン床義歯について

学術委員会 緒方敏克

周知のように平成2年4月からの診療報酬改定でスルフォン床義歯関連の点数が大幅に引きあげられた。又、ポリサルホン、ポリエーテル時代に比べて、最近のスルフォン床義歯においては①床義歯破折に対する改善が行なわれた。②人工歯の脱落がなくなった。③リベースが可能となった。④修理可能となった。⑤色々な人工歯使用が可能となった。以上の様に相当に改良が進み、物性面の問題もなくなってきたと報告されているので、今回の勉強部屋ではその概略を述べ紹介します。

スルフォン床義歯とは

① 特徴

スルフォン床義歯は、ポリサルホン、ポリエーテルサルホン、強化ポリカーボネートの総称で、新素材の高分子樹脂により製作され、工業界で一番精度が高く、高品質なプラスチック製品の製作に採用されており射出成形法によって製作される。

② 利点

(a) 安全性：従来のレジン床のように技工操作課程において、モノマーや触媒を使用していないので、残留モノマーの溶出がなく、物性の劣化がなく安定している。又、吸収性が少ないので唾液を吸収し、悪臭を発生させる事がない。口腔粘膜への刺激や発赤等の為害作用なく安全である。

(b) 強靭性：耐衝撃性に優れた樹脂で咬合、咀嚼運動に対し、安定した物性を保持し、耐衝撃性、耐疲労性、耐磨耗性に優れている。

(c) 耐熱性：熱可塑性樹脂であり、溶融軟化温度は360°Cで、口腔内環境において安定した物性を保持する。又煮沸消毒が可能があるので、清潔に保つ事ができる。現在スルフォン床義歯の製作では

- ①レイニング工法システム（射出成形法）
東伸洋行（沖縄県用材）
- ②スミプロイデンチャーシステム（圧縮成形法）住友化学（モリタ）

③ユービーデンチャーシステム（プリフォーム圧縮成形法）宇部興産（三金）がある。ここでは、一般的なスルフォン床義歯の設計並びに、リベース、修理等の方法について述べる。

スルフォン床義歯の設計

(1) 印象採得について

通常法に従い印象採得を行う。(精密印象法)

(2) 模型材について

寸法精度と緻密な石膏面を確保する為
模型用石膏は専用の耐圧硬石膏(混水量
25%)を使用。

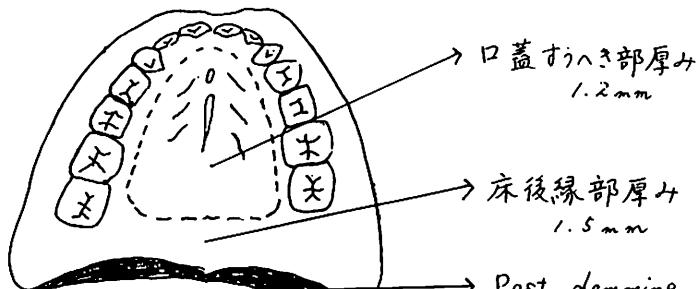
(3) 人工歯について

専用のスルフォン樹脂人工歯を使用。
スルフォン床樹脂と化学的に結合するの
で人工歯の維持力に優れ、さらに基底面
の凹部により床との維持が一層増強され
る。市販のレジン歯も使用できるが、維
持孔が必要である。陶歯は使用できない。

(4) ワックス形成について

射出成形スルフォン床義歯は、スル
フォン樹脂の強靭な特性を生かした数々の
形態設計が可能である。

1) 口蓋部を1.2mmと薄く形成すること
により、発音障害や異物感などが緩和
される。(図I、図II参照)



(図I)



(図II)

2) 残存歯舌側の床緑部及び床後緑部は
1.5mmの厚さに補強形成し、そこから口
蓋部へは移行的に薄く形成する。

(5) 鈎脚、補強線の固定について

レイニング工法では、高速で樹脂を石
膏型内に射出形成するため、鈎脚や補強
線などは樹脂圧で移動しないよう、予め
次のような方法で固定する。

① 鈎脚の固定法について

1) 鈎脚の先端を設計より長めにして
おき、折り曲げて5mm程度ワックス
床表面へ出す。射出成形後、床表
面に出てる部分を削除する。

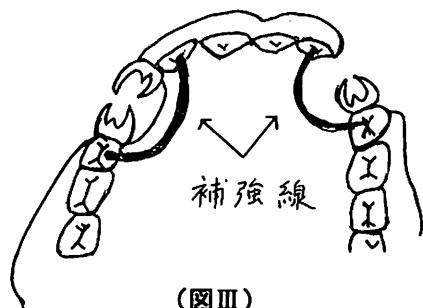
2) ワックス形成前又は脱臍後、鈎脚
の先端及び中間をデンチャーベース
レジンNで石膏面と固定する。

② 補強線の設計及び固定法について

1) フルデンチャーに入る場合、歯
槽頂近くに歯列に沿って入れる。特

臼歯部では、歯槽頂（人工歯の真下）に沿って入れる。

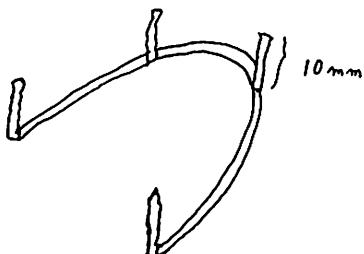
2) パーシャルデンチャーに入る場合、残存歯舌側の床緑部のように応力負荷の大きい場合には応力ひずみを緩和する方向、即ち歯列方向に沿って入れる。（図III参照）



（図III）

○補強線の固定法

保持ピンをロウ着して両端を折り曲げ
10mm程度ワックス床表面に出し、埋没時の石膏で固定する。（図IV参照）



（図IV）

スルフォン床義歯のリベース、修理

1. リベース（改床法）

専用デンチャーベースレジンNを使用し、従来のレジン床と同様に行なう。

2. 修理

1) 人工歯の脱落修理は人工歯及び床に維持部を形成し、専用デンチャーベー

スレジンNで接着する。

2) 鈎の取付修理は、鈎脚の位置まで口蓋側（舌側）から窓あけを行ない、なるべく小範囲にとどめる。（注）旧床と専用デンチャーベースレジンNの接合面は、旧床の上に移行的に重なるよう仕上げる。

3) レジン硬化後、余剰部を削り、通法通り研磨する。

以上の如く最近のスルフォン床義歯においては、色々な面で改善がなされ以前と比べてかなり身近なものになってきたと思われます。

興味のある先生方は、歯科技工所、歯科技工士会に問い合わせてみられてはいかがでしょうか。

【食べ物がルーツのことば】

（日本社）日本語がわかる本より

●あんぱいはいかがですか

「あんぱい」は漢字で「塩梅」と書き、元来は食べ物の味かけんをよくするという意味です。

古代中国では、^{あつもの}塩の調味に、塩や梅を用いたことから起きたことばです。

家 族 紹 介

《私のステキな!? だんな様》

宇都宮 和 子(市歯監事夫人)



①病院・医院名・住所

宇都宮歯科医院

熊本市新南部町231-10

②家族構成

主人 啓 一

私 和 子

長女 優 子

長男 紀 久 (福岡歯科大3年)

母 政 子

③結婚年数

26年

④恋愛それとも見合い?

恋愛

⑤交際・結婚のきっかけは?

先輩の先生の紹介で結婚しました。結婚して26年になり銀婚式も無事済みました。

⑥新婚旅行はどちらへ行かれましたか?

大阪一神戸一有馬温泉

⑦結婚なさってからの一番のよい思い出は?

銀婚式に子供達のすすめにより、長崎オランダ村に2人で旅行に行なったこと。

⑧奥様、子供様からみた御主人の点数(100点満点で)

私 95点

子供 100点?

子供達にはやさしいパパですが、私にはすぐ怒りますから、その分マイナス5点

⑨言いたいことや、やってほしいこと

人生半ばを過ぎましたので深酒をやめてほしいと思います。お酒を飲みだしますときりがありませんので。体を大事にして長生きをし、2人で国内旅行(海外旅行?)でもしましょう。

●手塩にかける

「手塩」とは、塩を盛った皿のことです。昔、食膳に置いて、膳の不淨を清めるとともに、各自の好みで料理の塩かけんをしたものでした。

つまり、自分の手にかけてあれこれ面倒をみることを意味します。

緒 方 昌 子(県厚生担当理事夫人)



①病院・医院名・住所

緒方進歯科医院

熊本市上通町4-18 井上ビル4F

②家族構成

主人 進

私 昌 子

長女 桂 子

長男 優 一

義母 コ ノ

③結婚年数

やっと20年

④恋愛それとも見合い?

大恋愛

⑤交際・結婚のきっかけは?

近所の幼なじみで私が中3時の家庭教師でした。ちなみに主人は高3で自分の受験勉強も顧みず(何を教えてくれたのか)

⑥新婚旅行はどうちらへ行かれましたか?

主人は貧乏でハワイへ行ったつもりで宮崎へ行こう。でも当時は宮崎は新婚旅行のメッカで反対方向の別府へ2泊3日でした。

⑦結婚なさってからの一番のよい思い出は?

日頃の罪ほろぼしのためか、結婚記念日と誕生日には何かプレゼントを頂きます。

⑧奥様、子供様からみた御主人の点数(100点満点で)

妻からみた点数

仕事面では何も言ふことはありません
100点満点、でも家庭面では帰ってくるだけましの10点、割って55点

子供からみた点数 85点 (-15点は短気、冗談が通じない、わがままな点)

⑨言いたいことや、やってほしいこと

結婚年数やっと20年と書いたように正しく『忍』の一字でした。真面目に生活していたのは結婚当初1~2年だけ、後は子供が産れようが何があろうが家庭を顧みない主人でした。マイペースで自分の好きな様に生きてきた人だから、いつ死んでも悔いはないでしょう。これからもお金と体の続く限り公私共に頑張るでしょう。せいぜい私は、下宿屋のおばさんとして主人より一日でも長く生きられる様頑張るつもりです。

● 酢だの蒟蒻だの

理解しがたいことや、面倒なことをいわれたときとか、ああでもない、こうでもない、というような場合に使います。

片山滋子(県社保担当理事夫人)



①病院・医院名・住所

片山歯科医院

熊本市島崎2丁目11-15

②家族構成

主人 幹夫

私 滋子

長男 晃紀(福岡歯科大学1年)

次男 祐紀(真和高校1年)

三男 泰紀(西山中学1年)

③結婚年数

20年

④恋愛それとも見合い?

見合い

⑤交際・結婚のきっかけは?

軽い気持で見合いをしたら何か運命的な
ものを感じた。

⑥新婚旅行はどうちらへ行かれましたか?

北海道

⑦結婚なさってからの一番のよい思い出は?

11月の連休に子供と私の母と一緒に、の
んびりと温泉に行ったこと。ささやかだ
けど、本当に心休まるひと時でした。(私
の母までつれて行ってくれて、うれしか

ったです。)

⑧奥様、子供様からみた御主人の点数(100点満点で)

私 80点

子供 90点

長所・何ごとにも冷静であり、家族を広
い心で包んでくれている。

短所・真面目すぎること

⑨言いたいことや、やってほしいこと

もう一度北海道に行きたいというのが、
二人の夢です。手を取り合ってのんびり
と汽車に乗り、又あの風景をながめてみ
たいです。それまでお互い元気で、あな
たは診療に、私は主婦でがんばりましょ
う。

●牛蒡抜き

競馬ファンにはおなじみのことばです
が、後方から一気に追い抜いて一着にな
ることをいいます。日常でも、物を強引
に引き抜く場合に使います。

これは、他の野菜に比べて、牛蒡は細
く真っすぐにのびているので、容易に抜
くことができるところからいわれたことば
です。

前野明美(県調査委員会担当理事夫人)



①病院・医院名・住所

新地デンタルクリニック

熊本市清水町新地701-53

②家族構成

主人 正 春

私 明 美

長女 奈 美 清水中3年

長男 光 洋 城北小学校4年

③結婚年数

16年

④恋愛それとも見合い?

恋愛

⑤交際・結婚のきっかけは?

先輩後輩 やきいもが縁

⑥新婚旅行はどちらへ行かれましたか?

アメリカ西海岸

⑦結婚なさってからの一番のよい思い出は?

毎年出かける家族旅行

⑧奥様、子供様からみた御主人の点数(100点満点)

私90点 子供90点

長所…自分の生き方に信念を持っている

短所…短所がない?と本人が言ってます

が一本気

⑨言いたいことや、やってほしいこと

年とともに人間味がでてきておもしろい人だと思う。体に気をつけてがんばってほしい。

●芋の煮えたのもご存知ない。

台所で芋が煮えているのにも気づかない。つまり、そんな身近なことにも無関心な状態を表します。親しみのもてるところです。

新入会員紹介

1. 氏名 萱野至仁

2. 住所

(自宅) 熊本市砂原町570-3 TEL 096-227-2828

(診療所) " TEL 096-227-2800

3. 生年月日 昭和30年9月3日

4. 趣味 ギター

5. 好きな言葉 誠実

6. 経歴 S56年3月 広島大学歯学部卒業 S60年11月 広島県甲奴郡甲奴町

S56年4月 " 付属病院勤務 齒科診療所勤務

S59年9月 " " 退職 S62年10月 " " 退職

S59年10月 広島市河村歯科医院勤務 S62年12月 熊本市宇治歯科医院勤務

S60年3月 " " 退職 S63年8月 " " 退職

S60年4月 広島市土江歯科医院勤務 S63年9月 熊本市白山歯科医院勤務

S60年10月 " " 退職 H2年9月 " " 退職

H2年10月 かやの歯科医院開業

7. 家族構成 妻 一巳 (S35年10月3日生) 次女 朝香 (H1年1月8日生)

長女 春菜 (S61年3月9日生)

◆ ----- ◆

1. 氏名 原田教二

2. 住所

(自宅) 熊本市渡鹿6丁目8番26号Dプレヴェイル203号TEL 371-4550

(診療所) 熊本市渡鹿6丁目8番26号 TEL 371-6400

3. 生年月日 昭和32年3月20日

4. 趣味 ゴルフ、読書

5. 好きな言葉 思いやり

6. 経歴 S50年3月 真和高校卒業 H1年5月 渡辺歯科退職

S54年4月 福岡歯科大学入学 H1年6月 中村歯科勤務

S60年3月 " 卒業 H2年9月 " 退職

S60年5月 渡辺歯科勤務 H2年10月 原田歯科医院開院

7. 家族構成 妻 敏惠 (S33年7月26日生) 長男 健太郎 (H1年10月24日生)

長女 奈央 (S62年1月4日生)



1. 氏名 広田達也
 2. 住所
(自宅) 熊本市河内町船津3188 TEL 096-276-1085
(診療所) " 2111-4 TEL 096-276-1080
 3. 生年月日 昭和28年5月22日
 4. 趣味 山歩き、水泳
 5. 好きな言葉 自然体
6. 経歴 S47年3月 熊本県立熊本高校卒業
S54年3月 九州大学歯学部卒業
S54年5月 千鳥橋歯科勤務(福岡市)
H2年7月 " 退職
H2年10月 ひろた歯科医院開業
7. 家族構成 妻 孝子 (S32年7月18日生)
長男 健一 (S58年8月15日生)
次男 淳一 (S60年2月23日生)
三男 溪 (H1年1月10日生)



-
1. 氏名 松永久
 2. 住所
(自宅) 熊本市清水東町2-53 TEL 096-344-6251
(診療所) " 水前寺2-19-16 TEL 096-385-9111
 3. 生年月日 昭和35年1月12日
 4. 趣味 剣道、スキー、ラケットボール
 5. 好きな言葉 初志貫徹
6. 経歴 S53年3月 熊本商科大学附属高等学校卒業
S60年3月 日本大学歯学部歯学科卒業
S62年2月 日本大学歯学部口腔外科学教室退局
S62年3月 金子歯科クリニック勤務
H2年7月 " 退職
H2年11月 松永歯科医院開業
7. 家族構成 父:俊一 (S6年3月26日生)
母:静代 (S12年11月11日生)

会務報告

理事会

月 日	協 議 題
10月17日	第29回理事会（総務、庶務、会計、委員会報告、協議）
11月14日	第30回理事会（総務、庶務、会計、委員会報告、協議）

学術委員会

月 日	協 議 題
11月16日	<ul style="list-style-type: none">・委員研修講演会 12月8日（土）PM3:30～PM5:30 口腔初期癌の診断・ビデオ研修（第2回）1月30日（水）歯周外科について・ビデオ研修（第3回）スルフォン床義歯について・11/20、21日の救急蘇生法実習について

社保委員会

月 日	協 議 題、
11月7日	<ul style="list-style-type: none">・資格関係過誤の発生原因別調査について・歯周外科の時期について（I型及びII型について）
12月5日	<ul style="list-style-type: none">・ビデオ研修（歯周外科）に関しての社保解説について

学校歯科委員会

月 日	協 議 題
10月22日	<ul style="list-style-type: none">・歯みがき指導打合せ・体育保健課
11月9日	<ul style="list-style-type: none">・県学校保健大会打合せ 期日 平成2年11月10日（土）・私立保育所、幼稚園の歯科嘱託医手当について・校医（1,000人以上～2人校医）の件について・平成4年度開校西原中学校と月出小の分離校の校医について

口腔衛生委員会

月 日	協 議 題
10月5日	<ul style="list-style-type: none">・健康フェスティバル、医専連シンポジウム最終打合せ。
11月2日	<ul style="list-style-type: none">・幼稚園の検診、フッ素塗布について・幼稚園児の母親に対する口腔衛生啓蒙

広報委員会

月 日	協 議 題
10月19日	・ “中岳” 71号第1回校正
10月26日	・ “中岳” 71号第2回校正 ・ “かわら版” 11月号編集
11月 2日	・ “中岳” 71号校正 ・ “かわら版” 11月号校正 ・ 今後の会誌発行について
11月27日	・ “中岳” 72号編集会議 ・ “かわら版” 12月号編集

医療管理委員会

月 日	協 議 題
10月24日	・ 平成3年度税務カレンダー作製について ・ 救急蘇生法実習について 11月16日 学術委員会と合同委員会 11月20日 } 実習 21日 }
11月16日	・ 窓口用ステッカー誤り部分訂正について ・ 保険給付外基準料金表作製について（文書料、健康診断料など） ・ 青色申告者に対する事業主勤労所得控除の創設について ・ 救急蘇生法実習について ・ 従業員の給料及び労働時間について ・ 診断書等の文書料について
12月12日	・ 文書料について検討 ・ 平成3年度税務カレンダー仕上げ ・ 2月税務説明会

厚生委員会

月 日	協 議 題
10月19日	・ 年金制度について 老齢基礎年金 障害基礎年金 遺族基礎年金
11月13日	・ 平成3年新年パーティ日時決定 平成3年1月19日（土） ・ 生命保険 共済年金の比較（市、県、日歯及び保険医協会）
12月11日	・ 新年パーティ打合せ第1回 ・ 新年パーティ打合せ

編 集 後 記

1月17日に、ついにイラクのクウェート侵攻により湾岸戦争が勃発しました。

中東諸国は、我々日本人とは想像を絶するような宗教、思考の違いがあるようですが、それにしても人と人が争い殺し合うことは大変悲しいことだと思います。

平和な日本に生まれてきた私達が今、できることは何なのかをもう一度、じっくり考え直してみたいものです。

K. N

熊本市歯科医師会会誌

第 72 号

発行日 平成3年2月25日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行
責任者 中根俊吾

印刷所 株式会社白瀬

熊本市水道町13番14号

TEL (356) 3593